



平成 30 年 5 月 17 日

富山県知事 石 井 隆 一 様

一般社団法人富山県薬業連合会  
会 長 中 井 敏 郎

## 県立高等学校における薬業科の増設に関する要望書

平素より、本県薬業の振興発展に関し、格別のご指導とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

本県医薬品産業は、三百有余年の伝統と歴史を有する配置薬業をその源として、平成 27 年の医薬品生産金額が過去最高の 7,325 億円と全国第一位となるなど、現在、医薬品製造企業と容器、包装などの医薬品関連企業が集積した日本有数の「医薬品製造クラスター」を形成しております。

今後、本県医薬品産業が更なる飛躍を図るためには、年々高度化する医薬品の製造・品質管理技術への対応や高い製剤技術力を活かした付加価値の高い医薬品の研究開発に取り組むとともに、こうした最新の技術や専門知識を有する人材の確保が必要不可欠です。

県におかれては、平成 29 年 4 月に県立大学工学部に医薬品工学科を設置されるなど、格別なご配慮をいただいておりますが、少子高齢化の進展に伴い、人材の確保がますます困難となる中、県内製薬企業等を支える専門的な人材を将来にわたって安定的に確保・育成するためには、中学・高校生の本県医薬品産業への関心を高めるとともに、大学だけでなく、高校において薬業について専門的に学ぶ機会の拡充を図る必要があります。

つきましては、現在、富山北部高校と滑川高校には、薬業に関する学科が設置されていますが、いずれかの高校において1学級増設していただきますよう、格段のご配慮をお願い申し上げます。